第13回農業農村情報研究部会勉強会議事要旨(案)

日時： 平成１８年９月１５日（金）15:00-17:00
場所： 東大農学部 7 号館 A 棟 7 階 717 号室
出席者（順不同，敬称略）：大政謙次（東大）、溝口勝（東大）、沖一雄（東大）、清水庸（東大）、三石正一（東大）、丹羽（東大）豊田裕道（東京農大）、古賀徹（農水省）、大西亮一（日本水土総合研究所）、小川茂男（農工研）、豊田敬一（富士通）、中山将司（松下電工）、赤星誠（NTT ドコモ）、加納太郎（NTT ドコモ）、井爪宏（水資源機構）、小山重男（水資源機構）、大羽泉（ARIC）、小野寺晃宏（ARIC）

１．報告事項

8 月 10 日(木)宇都宮大学において開催された大会での企画セッション「農業イノベーションと農業農村情報研究」は、５課題を発表し農業農村に関する情報の議論を深めた。

２．勉強会

(1) 水資源機構における技術情報の活用方法について（井爪宏、小山重男）

- 水資源機構における情報化推進は、業務の効率化、安価な水供給等の背景がある。
- 施設管理に GIS を導入している。1/25,000 の地形図上に幹線水路や各施設の位置を表示し、各施設の協議、占用等の調書、施設データ等を管理している。
- 高度な GIS ではなく、簡単な操作で図面の検索、調書の検索ができるようなシステムである。
- 情報化を推進する一方で、ホームページ等を利用してユーザー等への情報開示に努めている。

(2) 農業分野におけるモバイル ICT の活用（赤星誠、加納太郎）

- 現在携帯電話は、電話としての利用だけではなく、映像監視、業務・点検報告、セキュリティツール、災害ツール等、さまざまな分野で利活用されている。
- GPS 機能付きの携帯電話では、位置情報が取得でき、防災、施設管理等の分野で活用されている。総務省の指導もあり、平成 18 年度末までには、NTT ドコモの携帯全機種に GPS 機能が搭載される。
- 第三世代通信網（FOMA）の映像伝送には、FOMA テレビ電話と FOMA パケット通信を利用する２パターンがある。FOMA カード(1 枚 64kbps）を複数使用するバルク伝送装置もあり、映像の品質を高めている。テレビの報道機関では、FOMA カード 6 枚を使用してバルク通信を行うことによって、緊急時等の現場中継に活用している。
- 不感エリア（携帯電話の電波の届かないエリア）では、衛星携帯電話を利用する方法がある。

３．次回会合

次回の勉強会を１１月中旬に開催する予定。